KENWOOD

DKX-A800

AV Navigation System

取付説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取付説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

© 2013 JVC KENWOOD Corporation

LVT2498-003A

もくじ

取付

安全上のご注意 3
取付用部品一覧 6
ナビゲーションシステム取付用部品 6
地デジアンテナ取付用部品 6
取付作業の進めかた 7
取付作業の留意点 7
取付手順の流れ 7
取付作業が終わったら 8
ナビゲーションシステムの取り付け 9
取り付け方法 9
GPSアンテナの取り付け 10
取り付け上のご注意 10
取り付け方法 10
地デジ用アンテナの取り付け 11
取り付け上のご注意 11
接続のしかた 12
取り付け例 12
アンテナエレメント貼り付け位置について 13
取り付け方法 14
Bluetoothハンズフリー通話用マイクの取り付け 19
取り付け上のご注意 19
取り付け方法 19

接続

周辺機器の接続 20
電源の接続 26

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、
ご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取付説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に 具体的な注意内容が描かれています。

禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

指示

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

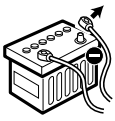
⚠警告

禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。

指示

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



指示

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。

指示

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（15A）以上あることを確認してください。また、本機の他にモニターなどを接続する場合は、車両側電源のヒューズ容量は、それらの総ヒューズ容量以上必要です。

車両側電源のヒューズ容量が不足する場合は、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

指示

本製品の配線は必ず、取付説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

指示

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故や怪我の原因となります。

注意

カーペットを切ったり車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉したり接触したりすることがないようにしてください。火災の原因になります。

指示

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ・ヘッドランプ・ウィンカー・ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

指示

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

指示

本製品または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

指示

万一〈異物が入った・水がかかった・煙りが出る・変な匂いがするなど〉異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ず〈お買い上げの販売店〉にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

禁止

本製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

指示

修理は必ず〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。

禁止

本製品の使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

⚠注意

指示

本製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。

禁止

本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

指示

安全のため、パーキング検出コードは必ず接続し、走行中にテレビ/ビデオの映像が見られないようにしてください。

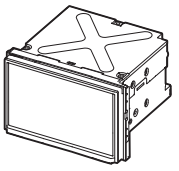
指示

本製品は自動車のコンソールに設置してください。

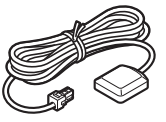
取付用部品一覧

取付作業を始める前に、以下の部品が揃っていることを確認してください。

ナビゲーションシステム取付用部品



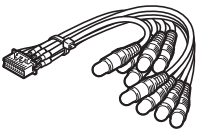
❶ ナビゲーションシステム本体 ····· 1



❷ GPSアンテナ(3.5m) ····· 1

❸ トラスネジ (M5×6mm) ···· 8

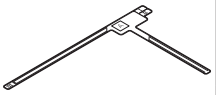
❹ セムスネジ (M4×8mm) ···· 1



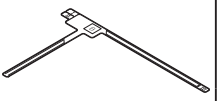
❺ RCAケーブル···· 1

❻ Bluetoothハンズフリー通話用マイク(3m) · 1

地デジアンテナ取付用部品



❼ アンテナ エレメントA····· 2



❽ アンテナ エレメントB····· 2

❾ アンテナケーブル (4m) ····· 4

❿ クリーナー ····· 1

⓫ ソフトテープ ···· 1

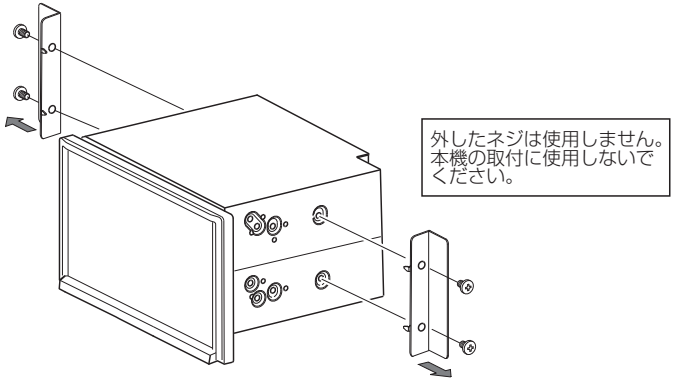
取付作業の進めかた

取付作業の留意点

- 各ユニットとも次のような場所には取り付けないでください。
  - ✔直射日光やエアコンの送風が当たる場所、水のかかる場所、高湿になる場所
  - ✔しっかりと固定できない場所
  - ✔グローブボックスの開閉の妨げとなる場所
- ナビゲーションシステム本体（以下「本体」）は所定の場所に取り付けてください。通気性の悪い場所などに取り付けると、内部の湿度が高くなり故障や誤動作の原因となります。
- 取り付け作業が終了するまで本体の電源を入れないでください。
- 本体はしっかりと取り付けてください。
- 本機動作中に強い衝撃を与えると内部データ等が破損する恐れがあります。取り付け前に動作確認などを行う際は注意してください。
- 取り付け前にCDなどで動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてディスクの出し入れを行ってください。

取付手順の流れ

1. 本機を安全に取り付けるために、「安全上のご注意」をお読みください。（3ページ～5ページ）
2. 本機に付いている輸送用金具をはずしてください。



3. ショート事故防止のため、エンジンキーを抜いた後、バッテリーの⊖端子を外します。
4. GPSアンテナ❷、地デジ用アンテナ❼❽❾、マイク❻を取り付けます。（10ページ～19ページ）
5. 周辺機器を接続してRCAケーブル❺のコネクターを本体に接続します。（20ページ～25ページ）
6. 電源の接続をします。（26ページ）
7. ナビゲーションシステム本体❶を車両に取り付けます。（9ページ）
8. バッテリーの⊖端子を接続します。

取付作業の進めかた（続き）

取付作業が終わったら

接続、取り付けが完了したら以下の作業を行ってください。

ナビゲーションシステム本体の動作確認

1. 配線に間違いがないか確認します。
2. 車両のエンジンをかけます。
3. ナビゲーションシステム本体❶に電源が入ることを確認します。

センサー学習

GPS情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。しばらくすると、センサー学習が完了し、自車マークの位置が正しく表示されます。

MEMO

- ●センサー学習には、GPS アンテナが正しく接続され、GPS 情報の受信状態が安定している必要があります。
- ●GPS アンテナの接続状態や GPS 情報の受信状態の確認は、取扱説明書の 150 ページ「接続状態を確認する」をご覧ください。
- ●障害物（建物、街路樹など）が少ない場所を走行してください。
- ●ナビゲーションの自車マークの位置は、センサー学習が完了するまで、実際と大きく異なる場合があります。
- ●センサー学習を初期化した場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。

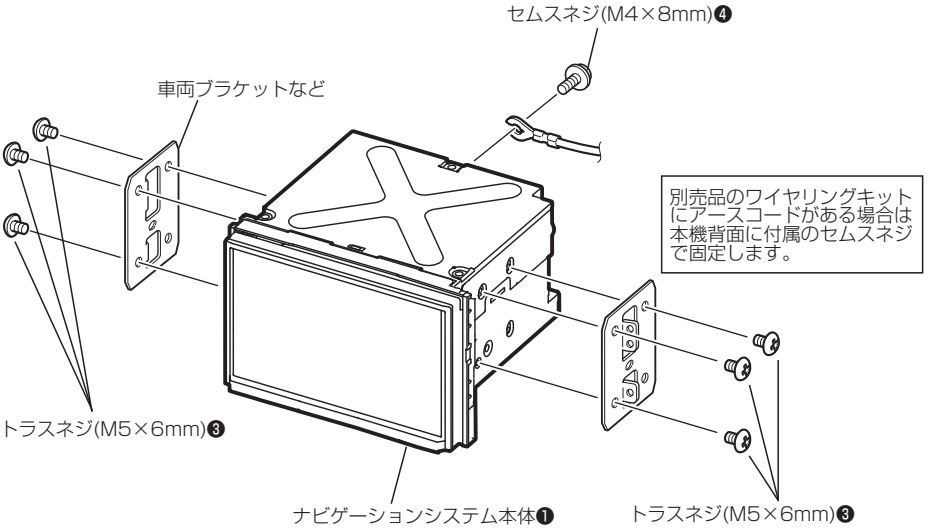
miniB-CAS カードの取扱いについて

miniB-CASカードは地上デジタル放送を受信するために必要なカードです。パッケージを開封することで「B-CASカード使用許諾契約約款」に同意したとみなされますので開封せず、取扱説明書と一緒にお客様へお渡しください。

ナビゲーションシステムの取り付け

取り付け方法

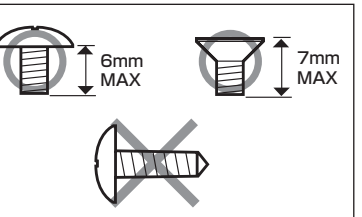
付属のトラスネジ（M5×6mm）❸を使用して、ナビゲーションシステム本体❶に車両のブラケットなどを取り付けます。



注意

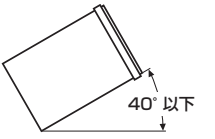
必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、ブラケットまたは車両のブラケットなどから本体が外れることがあります。

必ず車両のブラケットを使って取り付けてください。



指示

本機は上下方向に0～40°の範囲で取り付けてください。
範囲を越えた角度で取り付けると、ジャイロセンサーが正しく動作しないことやディスクの音飛びの原因になります。



【横から見た図】

注意

本機は自動車のコンソールに設置してください。
使用中および使用直後は、本機の金属部には触れないでください。放熱器や外郭のような金属部は高温となります。

MEMO

●無線機を取り付ける場合は、無線機のアンテナを本体から 1.5m 以上離れた位置に取り付けてください。無線受信に影響をおよぼすことがあります。

GPSアンテナの取り付け

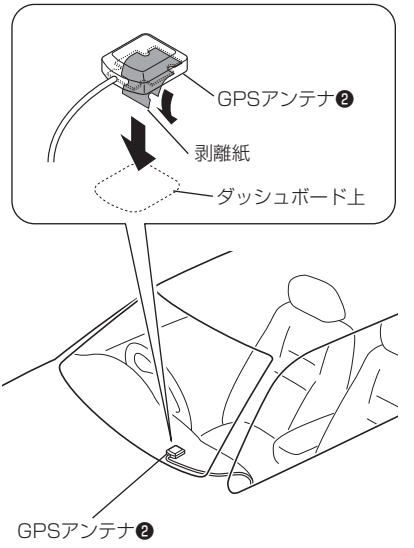
取り付け上のご注意

- このGPSアンテナ❷は車室内専用です。
- GPSアンテナ❷はGPS衛星の電波を受信しやすいようにできるだけ水平に取り付けてください。
- GPSアンテナ❷は、携帯電話や無線機などの電気・電子機器から30cm以上離れた位置に取り付けてください。GPS衛星からの電波がこれらの通信によって妨害される場合があります。
- GPSアンテナ❷を本体❶に近づけると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなることがあります。GPSアンテナ❷は本体❶からできるだけ離して取り付けてください。
- GPS衛星からの電波の受信状態が悪い場合は、GPSアンテナ❷を移動して受信状態の良い場所に設置しなおしてください。
- 受信状態の確認方法については取扱説明書の150ページをご覧ください。
- GPSアンテナ❷は車両の衝突や急停止などで外れないよう、しっかり取り付けてください。
- 貼り付け面の油分や汚れをきれいに拭き取ってください。

取り付け方法

ダッシュボードへの取り付け

1. GPSアンテナ❷裏面の剥離紙をはがし、ダッシュボード上にGPSアンテナ❷を取り付けます。



MEMO

- アンテナ部が車両の部品などで覆われていないか確認し、どの方向からも電波が受信できるようにしてください。
- プリントアンテナやフィルムアンテナ、曇り除去装置、断熱シートなどがフロントガラスについている場合は、GPS 衛星からの電波を受信しにくくなります。

地デジ用アンテナの取り付け

取り付け上のご注意

- このフィルムアンテナは車室内専用です。
- 下記の位置には取り付けないでください。
  - ✔車検標章などと重なる位置
  - ✔運転者の視界を妨げる位置
  - ✔エアーバックや保安部品の動作の妨げとなる位置
  - ✔リアハッチなど可動するガラス面
  - ✔車体の側面（ドアやフロントクォーターウィンドウなど）
  - ✔リアウィンドウなど
- 下記の場合は受信感度が低下します。
  - ✔熱線反射ガラスやミラー調ガラスフィルムの貼ってある場所
  - ✔純正ラジオなどのアンテナ（パターン）に重なる場所
  - ✔ウィンドウの熱線と重なる場所
  - ✔電波を通さないガラス（熱線反射ガラスや断熱ガラスなど）を使用している場合
- 各アンテナエレメントとアンテナケーブルの取り付け位置を十分に確認してから作業を行ってください。アンテナエレメントは貼りなおすことができません。
- 貼り付け面の油分や汚れを付属のクリーナー⑩できれいに拭き取ってください。
- アンテナエレメントを折り曲げたり、傷を付けないでください。
- 貼り付け面の温度を、暖房をかけるなどして高くしてから作業を行ってください。
- 車種により取り付けられない場合があります。
- アンテナエレメントおよびアンプ部は、アンテナケーブルの引き回しなどを確認してから貼り付けてください。

MEMO

●ワイパーを動かした際やエアコンなどから出るノイズにより、受信感度が低くなる場合があります。

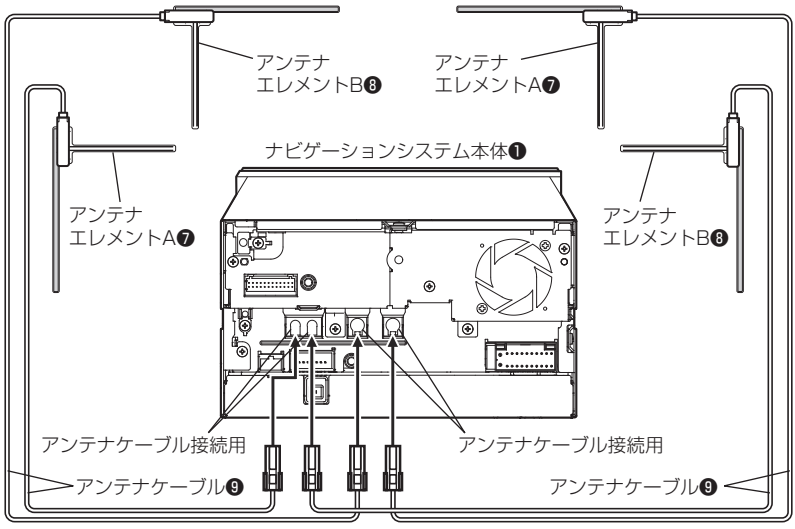
●車両（アンテナ）の方向と放送局の位置関係により受信状態が悪くなる場合があります。

地デジ用アンテナの取り付け（続き）

接続のしかた

指示

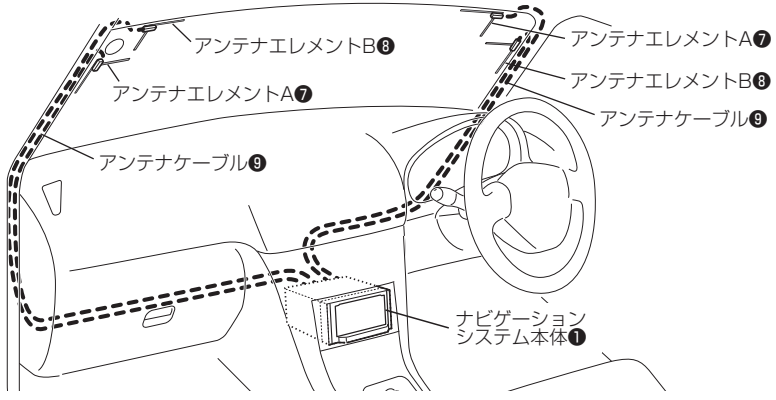
●ショート事故防止のため、エンジンキーを抜いた後、バッテリーの ⊖ 端子を外してください。



MEMO

●アンテナケーブルは、接続用コネクターのどこに接続してもかまいません。

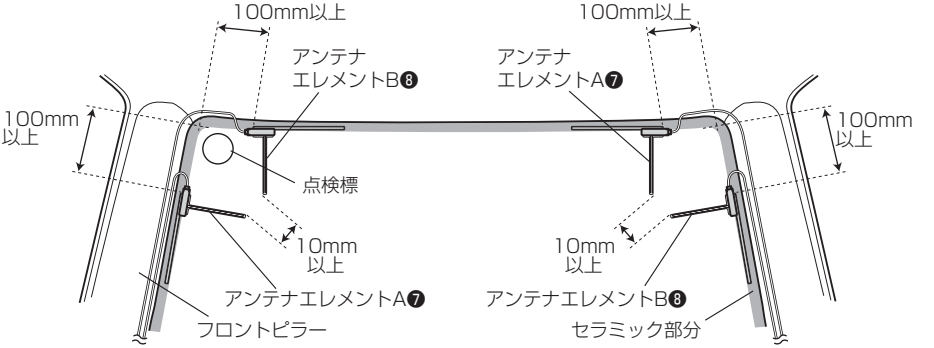
取り付け例



アンテナエレメント貼り付け位置について

- アンテナエレメントにはAとBがあります。貼り付け位置を間違えないように正しく取り付けてください。
- 下図を参考にして各アンテナエレメントの貼り付け位置を決めてください。
  なお、図中の数字は、最低限あけていただきたい間隔を表します。

アンテナエレメント貼付位置

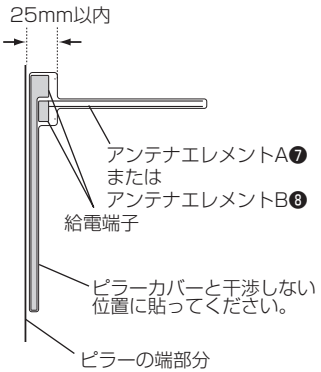


貼り付けの向きについては14ページをご覧ください。

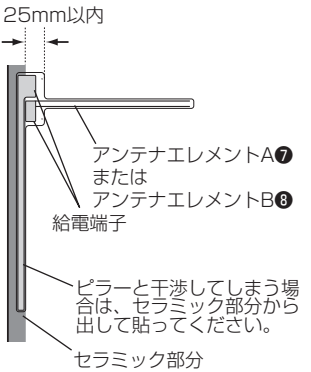
アンテナエレメント貼付位置詳細

アンテナエレメントの給電端子がフロントガラス周縁のセラミック部分またはピラーの端から25mm以内の位置になるように貼り付けてください。
※イラストは左側ですが、右側および上側も同様に取り付けてください。

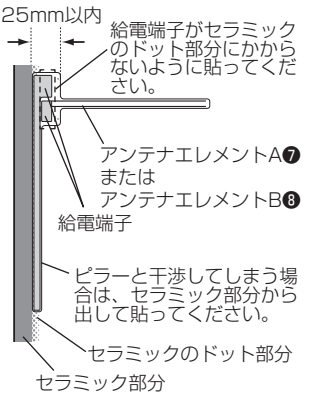
<セラミック部分がない場合>



<セラミック部分にドットがない場合>

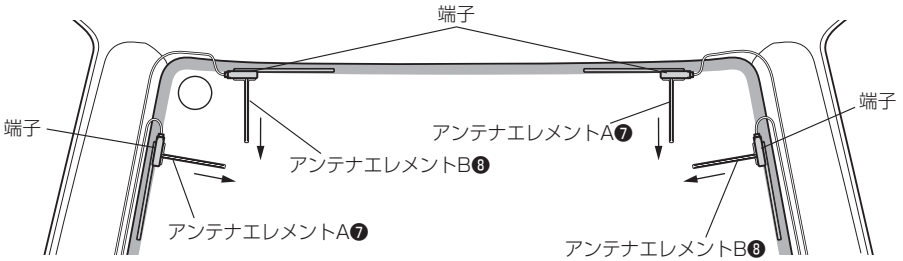


<セラミック部分にドットがある場合>



地デジ用アンテナの取り付け（続き）

アンテナエレメントと端子は下図の向きになるように貼り付けてください。

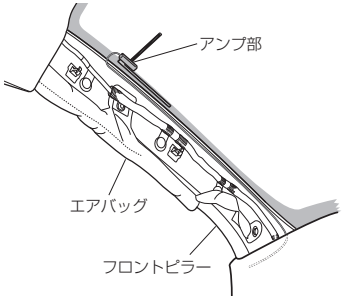


取り付け方法

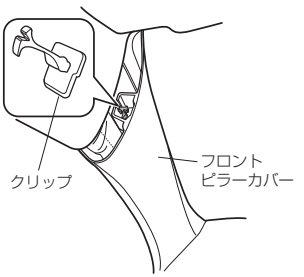
注意

- ●アンテナエレメントやアンテナケーブルのアンプ部は、貼りなおすことができません。取付位置は十分に確認してください。
- ●アンテナケーブルのアンプ部とフロントピラーカバーとの干渉に注意してください。
- ●アンテナケーブルをエアバッグが装着されているフロントピラー内を通す場合、次の点に注意してください。

アンテナとエアバッグが干渉しないようにするため、アンテナケーブルのアンプ部がエアバッグよりも前方または上方になるように取り付けてください。



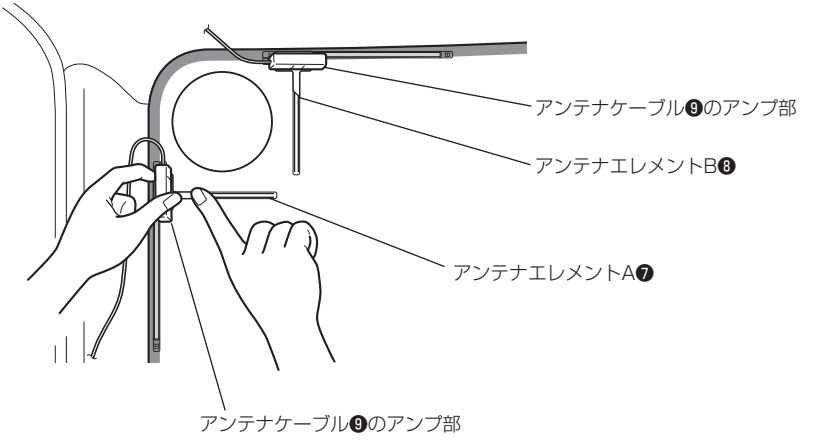
フロントピラーカバーが特殊クリップ等で固定され、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。



アンテナエレメントの取り付け

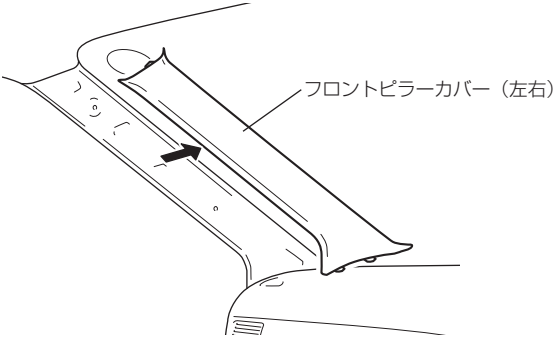
以降のイラストは左側の説明です。右側はアンテナエレメントA❼とアンテナエレメントB❽の位置が入れ替わりますが同様に取り付けてください。

1. アンテナエレメントA❼（上側はアンテナエレメントB❽）とアンテナケーブル❾のアンプ部を仮当てし、取り付け位置を決めます。
「アンテナエレメント貼り付け位置について」（13ページ）を参照して、すべての取り付け位置を決めてください。



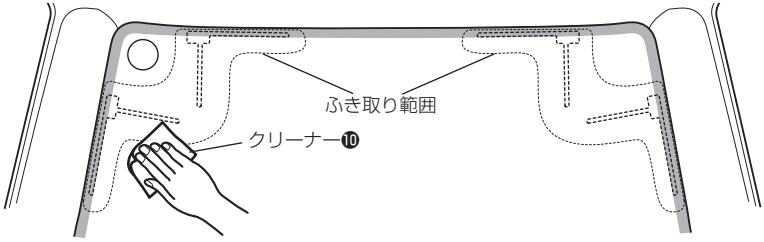
注意
●フロントピラーカバーとアンテナケーブル❾のアンプ部が干渉しないように、必ずフロントピラーカバーを取り外す前に確認してください。

2. フロントピラーカバー（左右）を取り外します。



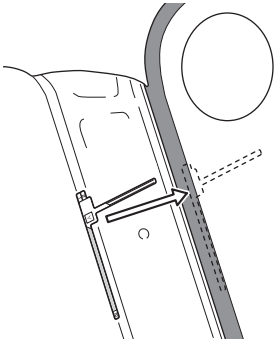
地デジ用アンテナの取り付け（続き）

3. アンテナエレメントを貼り付けるすべての場所の汚れを、付属のクリーナー❿できれいに拭き取ります。

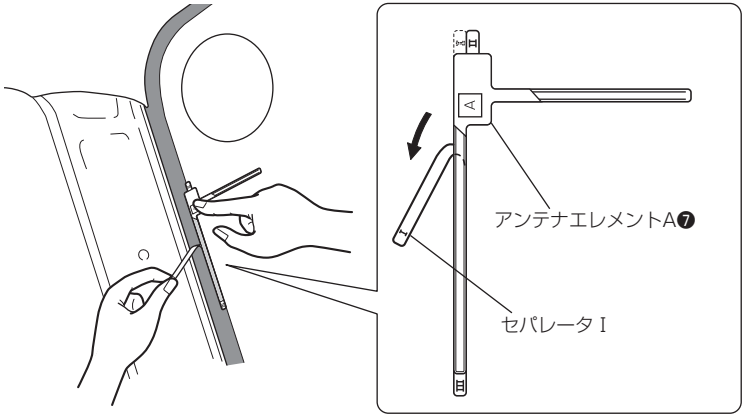


注意
●クリーナー❿は乾きやすいため、一度にすべての場所の汚れを拭き取ってください。

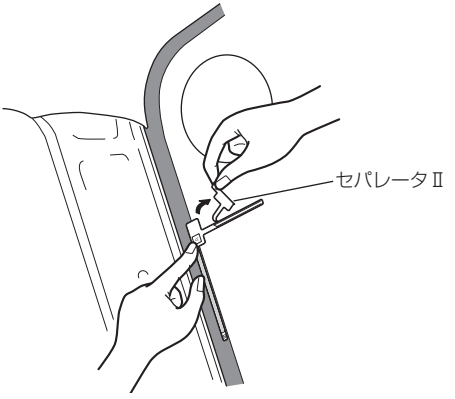
4. 手順１で決定した位置にアンテナエレメントを当てます。



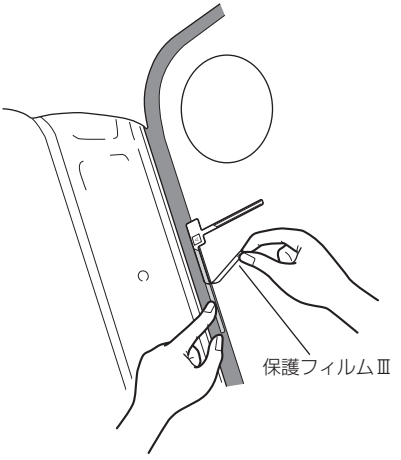
5. アンテナエレメントを押さえながらセパレータＩをはがし貼り付けます。



6. アンテナエレメントを押さえながらセパレータⅡをはがし、アンテナエレメントを貼り付けます。

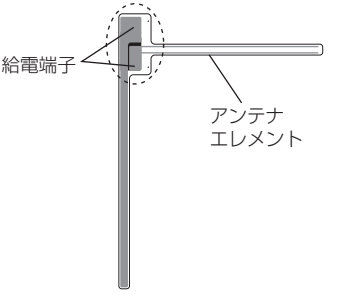


7. 樹脂製のヘラなどでフィルムの上からアンテナエレメントを十分に密着させた後、保護フィルムⅢを静かにはがします。



注意

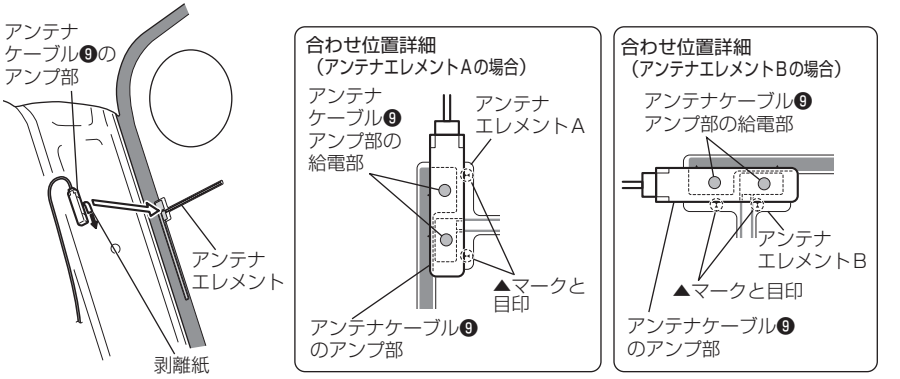
- ●エレメントが保護フィルムⅢと一緒にはがれる場合は、保護フィルムⅢを元に戻してガラス面に貼り付くように強く押しつけてください。
- ●給電端子には直接手で触れないでください。



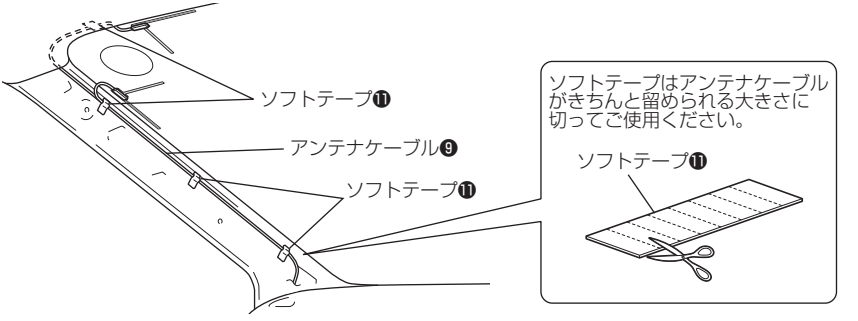
地デジ用アンテナの取り付け（続き）

アンテナケーブルの取り付け

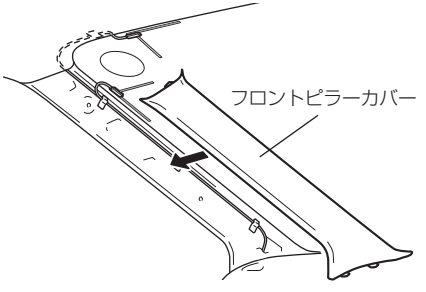
1. アンテナケーブル❾のアンプ部裏面の剥離紙をはがし、アンテナエレメントの給電端子に、アンテナケーブル❾のアンプ部を貼り付けます。
   アンテナケーブル❾のアンプ部の目印をアンテナエレメントの▲マークに合わせて貼り付けてください。



2. アンテナケーブル❾を配線します。必要に応じてケーブルをソフトテープ⓫で固定して配線します。



3. フロントピラーカバーを元通りに取り付けます。



注意

- ●フロントピラーカバーが給電端子と干渉しないように注意してください。
- ●アンテナケーブルをピラーカバーやコンソールなどにはさみ込まないように注意してください。ショートを起こし、放送が受信できなくなります。

Bluetoothハンズフリー通話用マイクの取り付け

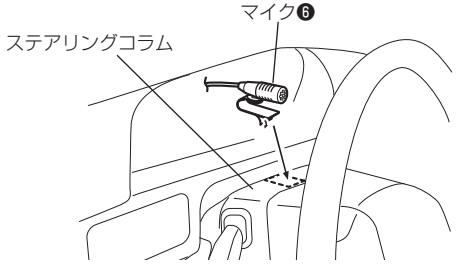
取り付け上のご注意

- 下記の位置には取り付けないでください。
  - ✔運転者の視界を妨げる位置
  - ✔エアーバックや保安部品の動作の妨げとなる位置
- Bluetoothハンズフリー通話用マイク❻（以降マイク❻）は、携帯電話や無線機などの電気・電子機器から離れた位置に取り付けてください。ハンズフリー通話時の音声がこれらの通信によって妨害される場合があります。
- マイク❻は車両の衝突や急停止などで外れないよう、しっかり取り付けてください。
- マイク❻は、ケーブルの引き回しなどを確認してから貼り付けてください。

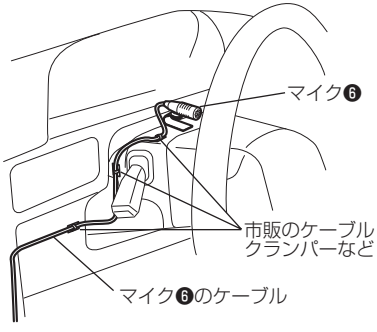
取り付け方法

ステアリングコラム上への取り付け例

1. マイク❻を貼り付ける場所の汚れをきれいに拭き取り、マイク❻をステアリングコラム上に貼り付けます。



2. マイク❻のケーブルを配線します。必要に応じて配線を市販のケーブルクランパーなどで固定します。



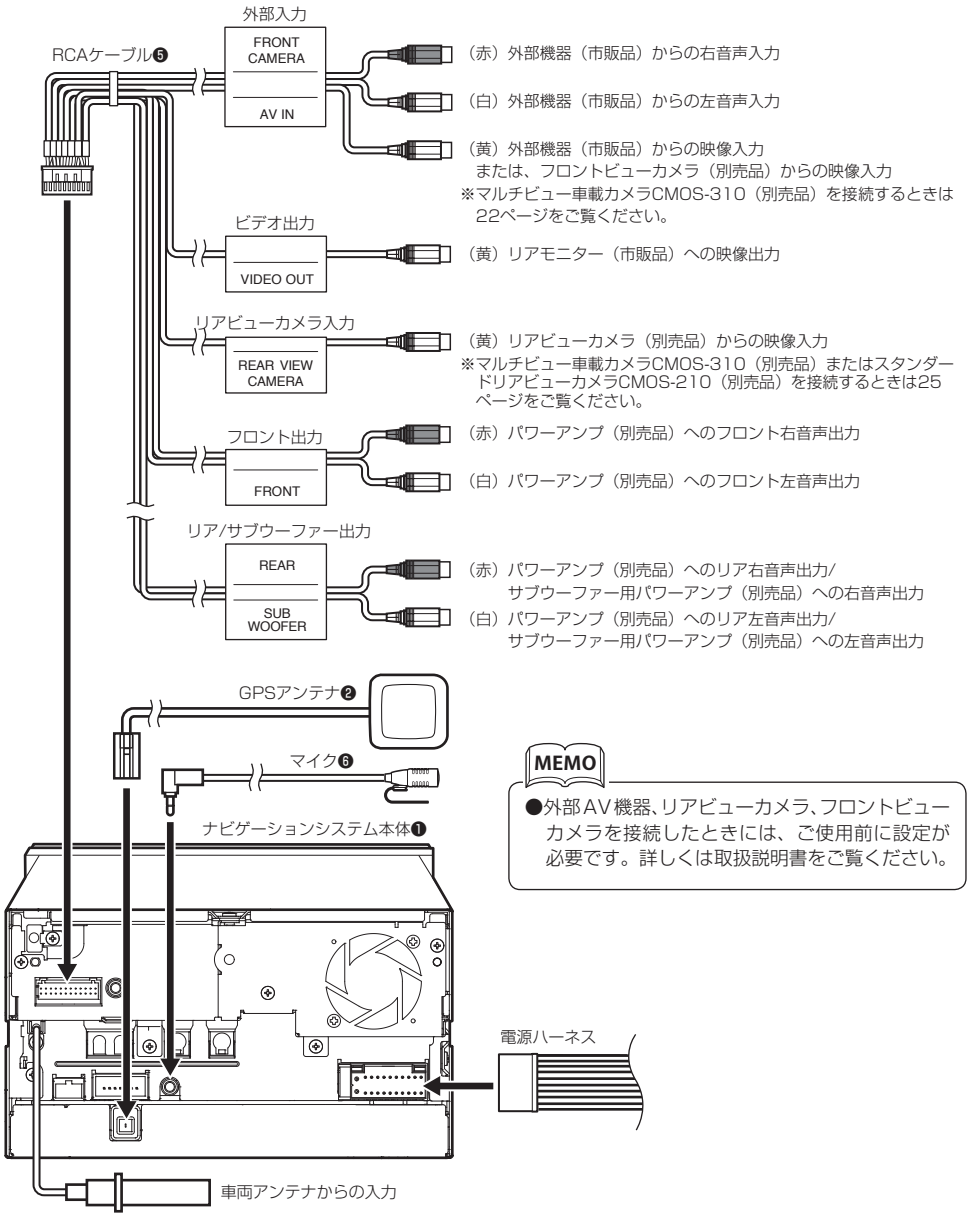
注意
●ケーブルを可動部にはさみ込まないように注意してください。

3. マイク❻の正面が運転者の方向へ向くように調整します。

周辺機器の接続（GPSアンテナ、マイク、外部AV機器）

指示

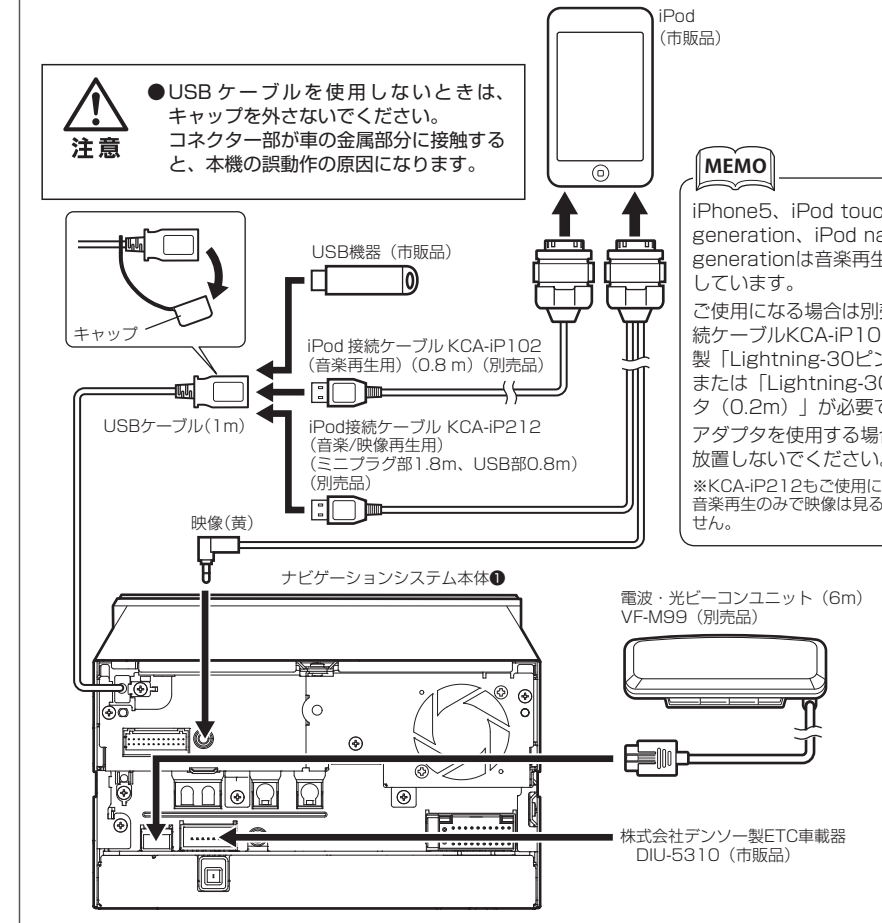
●ショート事故防止のため、エンジンキーを抜いた後、バッテリーの ⊖ 端子を外してください。



MEMO

●外部AV機器、リアビューカメラ、フロントビューカメラを接続したときには、ご使用前に設定が必要です。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

周辺機器の接続（電波・光ビーコンユニット、ETC車載器、iPod接続ケーブル）



MEMO

iPhone5、iPod touch 5th generation、iPod nano 7th generationは音楽再生のみに対応しています。

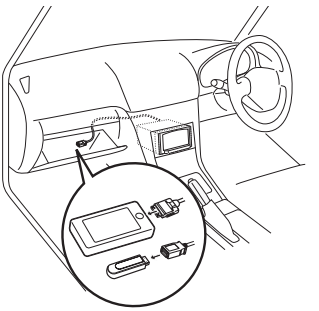
ご使用になる場合は別売のiPod接続ケーブルKCA-iP102とApple社製「Lightning-30ピンアダプタ」または「Lightning-30ピンアダプタ（0.2m）」が必要です。

アダプタを使用する場合は、車内に放置しないでください。

※KCA-iP212もご使用になれますが、音楽再生のみで映像は見ることができません。

配線例

iPodやUSBデバイスは、グローブボックスなどに収納します。
USBケーブル（1m）は、グローブボックスなどへ届く位置に引き出してください。



注意

- iPodやUSBデバイスは足下などに落ちないようにしてください。iPodやUSBデバイスが運転ペダルの下などに入ると、運転に支障をきたして危険です。
- ケーブルやコネクターに直射日光が当たらないように配線・取り付けをしてください。ケーブルやコネクターが直射日光に当たると、熱のため変形して使用できなくなります。
- 必要に応じて市販のケーブルクランパーを使用してケーブルを固定してください。

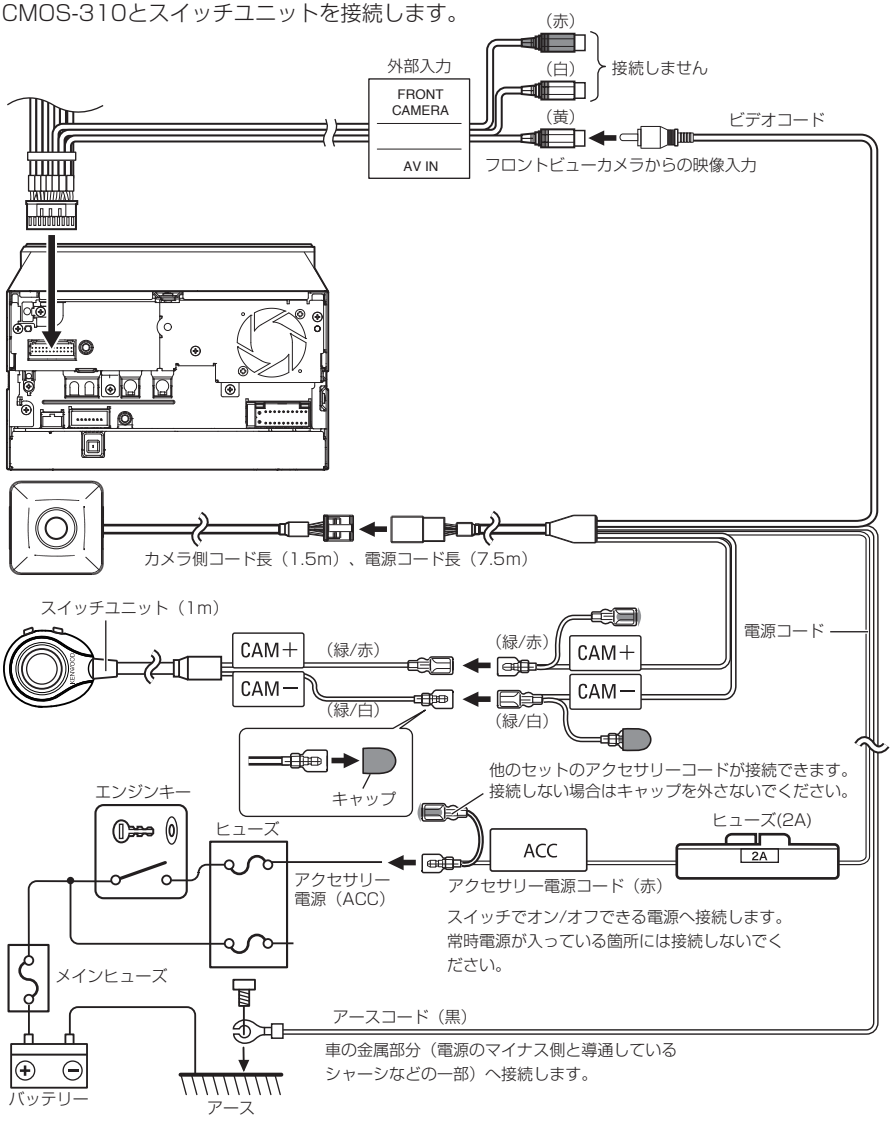
周辺機器の接続（フロントビューカメラ）

マルチビュー車載カメラ CMOS-310 の接続方法

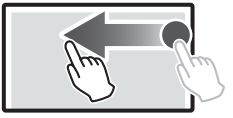
- 本機でCMOS-310をフロントビューカメラとしてご使用になる場合はID設定が必要です。ID設定はリアビューカメラがID 1、フロントビューカメラがID 2です。リアビューカメラは初期設定でID 1になっているので設定の必要はありません。フロントビューカメラをID 2に設定してください。（23ページ）
- ID設定をするときのみ、CMOS-310同梱のスイッチユニットを接続する必要があります。ID設定が終わったら必ずスイッチユニットは外してください。

CMOS-310 の ID を設定する

1. CMOS-310とスイッチユニットを接続します。



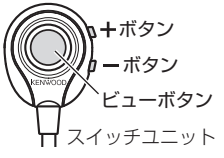
2. 電源ハーネスを接続します。
3. 画面右上から左にドラッグまたはフリックしてソース切替画面を表示します。



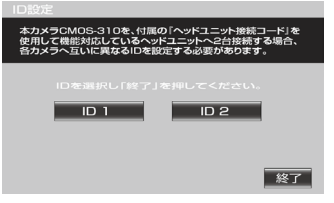
4. [AV-IN]にタッチします。

5. [HOME]ボタンを押して、ホーム画面を表示します。
6. AVエリアにタッチします。

7. スイッチユニットの＋ボタンを2秒以上押したあと－ボタンを2秒以上押します。

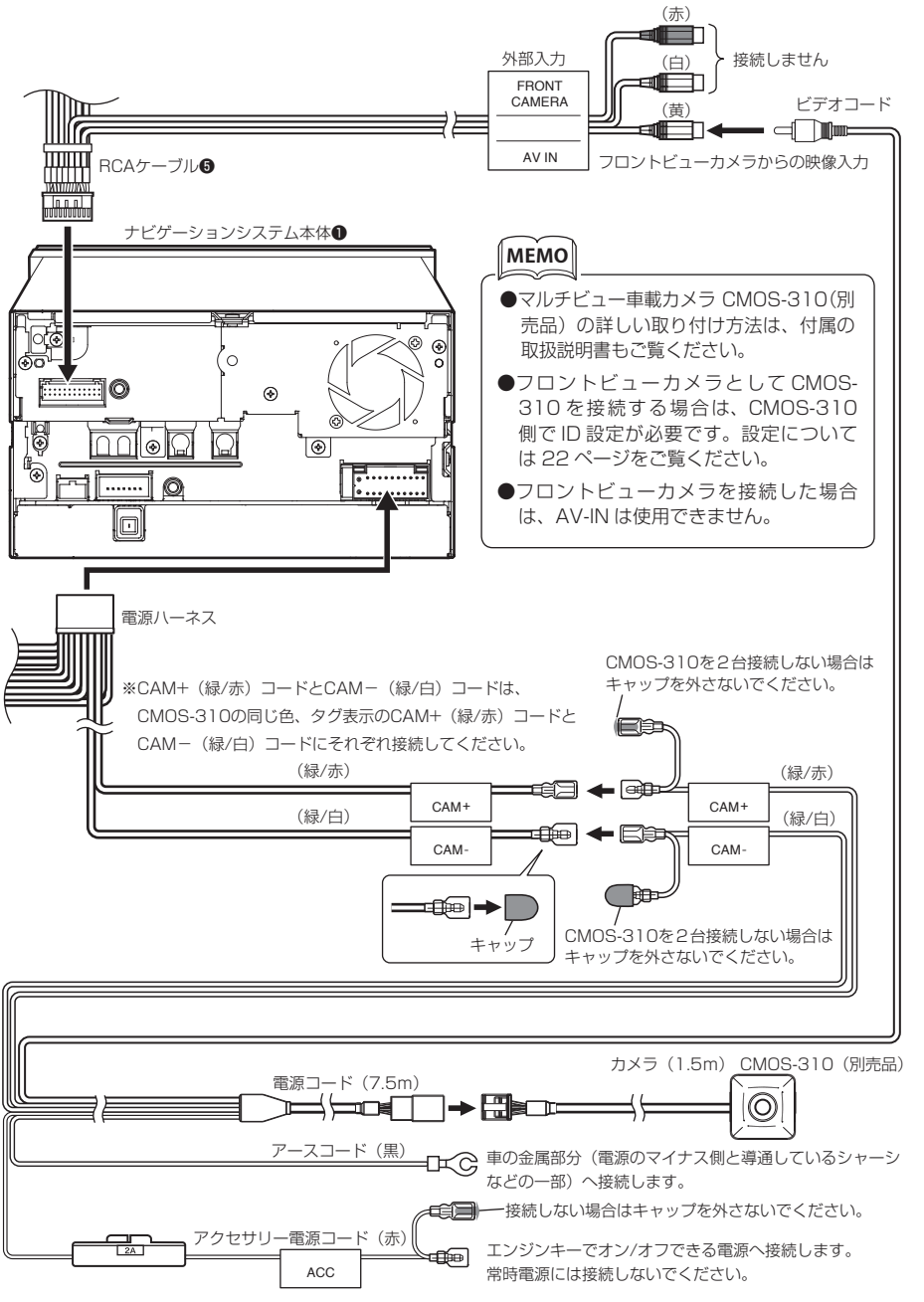


ID設定画面が表示されます。



8. スイッチユニットの＋と－ボタンでID 2を選択してビューボタンを押します。
9. スイッチユニットの＋と－ボタンで「終了」を選択し、ビューボタンを押します。
10. 設定が終了したらスイッチユニットを外します。
    スイッチユニットを外してもID設定は保持されます。
11. 24ページに従って配線してください。

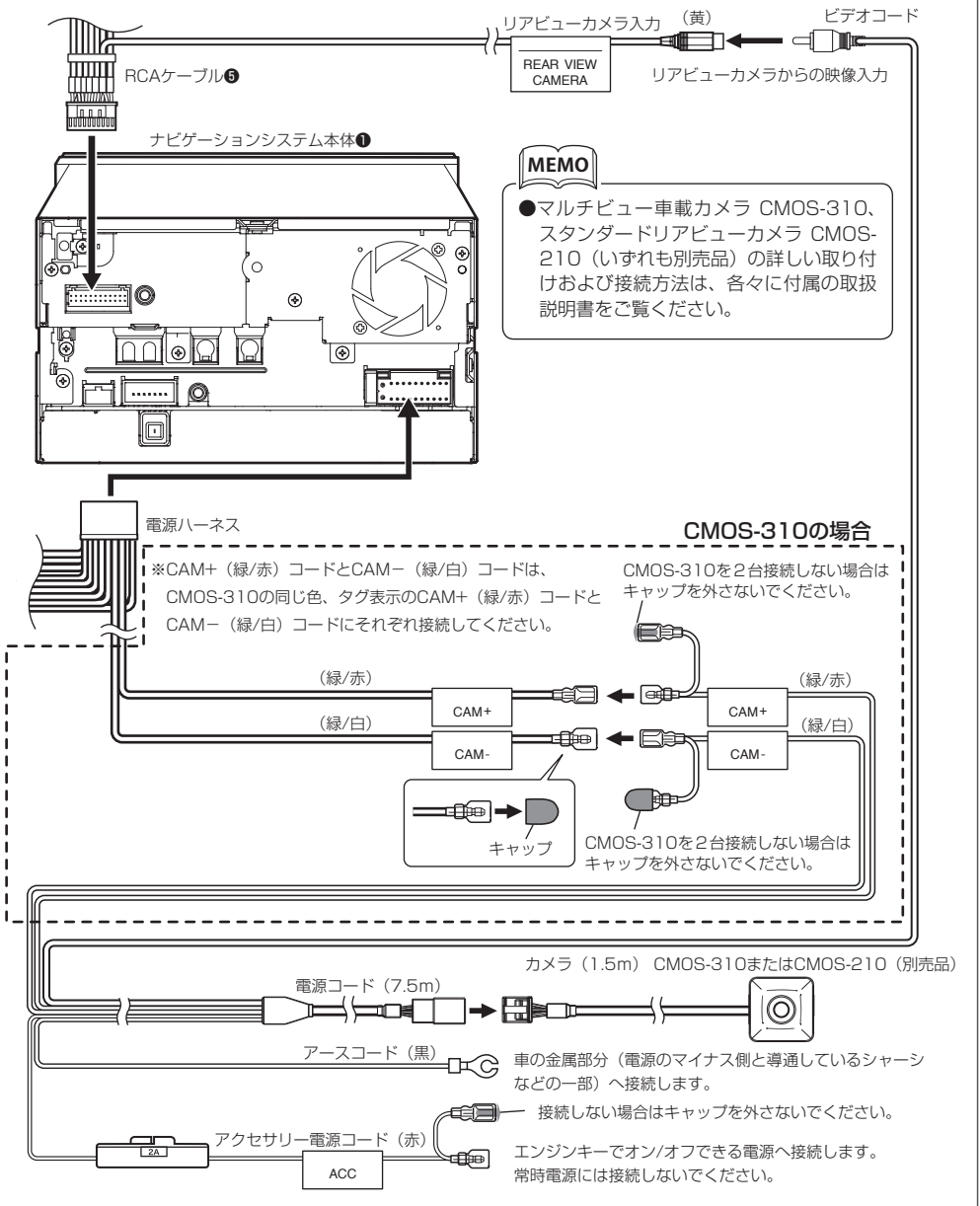
周辺機器の接続（フロントビューカメラ）



MEMO

- ●マルチビュー車載カメラ CMOS-310（別売品）の詳しい取り付け方法は、付属の取扱説明書もご覧ください。
- ●フロントビューカメラとして CMOS-310 を接続する場合は、CMOS-310 側で ID 設定が必要です。設定については 22 ページをご覧ください。
- ●フロントビューカメラを接続した場合は、AV-IN は使用できません。

周辺機器の接続（リアビューカメラ）



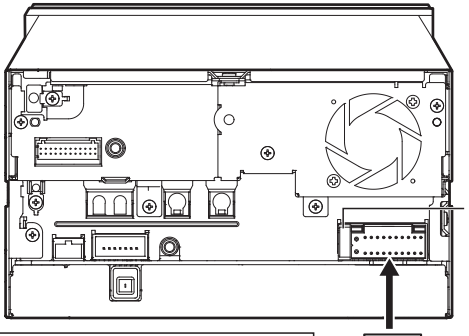
電源の接続

1. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリー電源コード（赤）の順に接続します。
2. パーキング/車速/リバース検出コードを接続します。
3. 電源ハーネスを本体❶に接続します。
4. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。

指示 作業前にエンジンキーが抜かれていることを確認し、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

注意
- 各端子の接続は完全にロックするまで差し込んでください。
- 電源ハーネスの使用しない端子のキャップは取り外さないでください。

ナビゲーションシステム本体❶

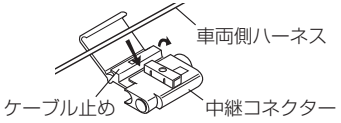


禁止 ●車速検出コードの "S SENS" と書かれたホルダー（保護ダイオード入り）は切り外さないでください。車両故障の原因になります。

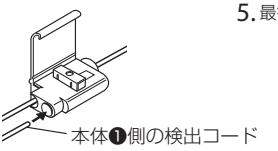
注意
- ●パーキング検出コード、車速検出コードおよびリバース検出コードの接続には、中継コネクターをお使いください。
- ●ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。
- ●マルチビュー車載カメラを取り付けないときは、接続ケーブルの CAM+、CAM- 端子のキャップは取り外さないでください。

中継コネクターの使いかた

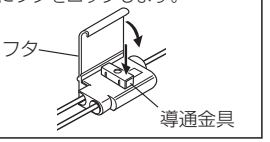
1. 車両側のハーネスを中継コネクターに差し込みます。
2. ケーブル止めをロックします。



3. 本体❶側の検出コードを中継コネクターに差し込みます。



4. プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。
5. 最後にフタをロックします。



株式会社 JVCケンウッド
〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12